

国保税引き上げ反対請願不採択！

沼田市議会民生福祉常任委員会

8日に開催された沼田市議会6月定例会民生福祉常任委員会において、「沼田市の国保を考える会」（永井三郎会長）から提出されていた「国民健康保険税の引き上げ反対を求める請願書」（内容については前号で紹介）が審査され、賛成少数で「不採択」となりました。賛成したのは日本共産党の井之川博幸委員のみで、他の委員は反対しました。



同時に審査された市長提出の「国保税の引き上げ条例議案」と、引き上げを反映した「補正予算案」は、賛成多数で可決されました。反対したのは、井之川委員のみでした。

審査の中で、前年度の療養給付（医療）費の伸びが0.7%であるのに、今年度は1.6%の伸び率で推計していることや、県内12市の中で7市が一般会計から繰入れをして保険税の引き上げを押さえていること、沼田市は保険税の収納率が一番の上、前年度も向上していること、後期高齢者医療制度改定の見通しや診療報酬の影響など、先々の状況も不透明なことも明らかになりました。

これらの請願・議案については、議会最終日の11日、本会議において討論・採決が行なわれます。是非傍聴にお出かけ下さい。

裁判権放棄の密約の廃棄などを求める請願は審査未了に

利根沼田平和委員会（佐藤卓三会長）から昨年の12月議会に提出されていた請願第10号「日米地位協定に関わる『裁判権放棄の密約』の公表と廃棄を求める意見書の採択を求める請願書」は、議会運営委員会に付託され継続審査になっていましたが、1日に開催された議会運営委員会において「審査未了」となりました。日本共産党の井之川博幸委員は、外務省で証拠文書が発見されたことや現在でも「裁判権放棄」は続

市民税1億3千万円増税に

子ども手当の財源として年少扶養控除を廃止

1日に行なわれた本会議において、市税条例の一部改正案が上程され、反対少数で可決されました。その内容には、政府の実施する「子ども手当」「高校授業料の無償化」の財源として、16歳未満の扶養親族に係る扶養控除33万円を廃止、並びに16歳以上19歳未満の特定扶養親族に係る扶養控除の上乗せ部分12万円を廃止することがふくまれています。

それによる市民税の増税（2012年6月から）の額が年間で1億3千万円になります。もちろんこれ以外にも県民税、所得税も増税になります。年収700万円前後の世帯では、「高校授業料の無償化」または、「子ども手当」をもらっても差し引き増税の世帯もあるといわれています。これらの増税の他に、世帯によっては、保育料や国保税にも連動するのではないかとという心配もあります。



なんでも相談会

お気軽に
おいで下さい

融資・借入金問題・交通事故
相続・土地トラブルなどなんでも

6月17日（木） 午後6時から（毎月第3木曜日）

場所：井之川博幸市議宅 高橋場町333(4地区) TEL24-5022

主催：日本共産党沼田北部支部

いていることなどを示し、「採択」を主張しましたが、多くの委員が趣旨は理解するが、結論を出せる問題ではないと主張し、「審査未了」となりました。

2010年6月13日 No.520

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料